

1 主題名 自分たちの学校 C- (16) よりよい学校生活, 集団生活の充実 教材「かべに付けた手のあと」

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

第3学年及び第4学年のC- (16) は、「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。」をねらいとしている。これは、第5学年及び第6学年の「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。」に発展していくものである。

この段階においては、仲間意識の高まりと相まって特に学級への所属意識が高まると言われている。このことから、互いに思いやり楽しい学級を、みんなで協力し合ってつくっていくことができるような態度を育む必要がある。また、よりよい学校生活をつくることに関心を深められるようにすることも大切である。しかし、自らの学級への意識は高まりつつあるものの、よりよい学校生活をつくることについて関心を深めるには至っていない。第4学年のこの時期には、集団の中での自分の役割への自覚に向けた素地として、学校全体も視野に入れて、自分との関わりでよりよい学校をつくることへの関心を深めたい。そこで、日々世話になっている学校の人々との関わりにも目を向け、学級や学校の生活について考えることを通して、みんなで協力し合って自分たちの楽しい学級や学校をつくろうとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

意識調査 (平成29年*月*日実施 計*名)

問い1 学級で協力し合っていることは何ですか。(複数回答)
・係活動 *人 ・給食当番活動 *人 ・掃除当番活動 *人 ・話し合い活動 *人
問い2 学校のために協力し合っていることは何ですか。
・ウサギの飼育 *人 ・あいさつ運動 *人 ・ない(わからない) *人

本学級の意識調査から、児童にとって学級の中で協力し合うということは、係や当番の活動をイメージする児童が多いことが分かった。係や当番活動では声を掛け合い進めるなど、学級集団における自分の役割を意識して活動している様子が見られる。また、学年の役割として、学校のウサギの飼育を任されており、毎日熱心に活動をしている。学級活動として行うあいさつ運動にも、積極的に参加する様子が見られるなど、自分の役割は素直に行い、学校生活を送っている。そこで、学校生活に関わる様々な人々が学校を大切にしている思いについて考えることを通して、自分との関わりで学校生活を見つめ、自分も集団の一員であるという意識を高めるとともに、友達と協力して楽しく充実した学校生活を築いていこうという心情を育てたい。

(3) 教材について (教材名:「かべに付けた手のあと」 出典:「みんなの道徳」学研)

本資料は、誤ってかべに墨で手のあとを付けてしまったたつやが、その汚れを自分が付けたわけでもないのに消していたひろしの行動や、学校への感謝を込めて校舎を掃除する6年生の行動から自分を振り返るという内容であり、学校の汚れを消すという行動に込められた、学級の仲間や上級生が学校を大切にしている思いに気づくことのできる教材である。自分の学校に関わる人々を想起して自分の学校生活とつなげることで、気づいたことを自分との関わりで見つめられるようにしたい。また、自分が大切にしている思いを表現する活動を通して、そのよさを実感したり、その思いを交流したりして、友達と協力して楽しく充実した学校生活を築いていこうという心情を育てたい。

3 本時の指導

(1) ねらい

よりよい学級や学校にするために、学校の様々な人々が大切にしている思いを考えることを通して、自分も集団の一員であるという意識を高め、楽しく充実した学校生活を築いていこうという心情を育てる。

(2) 準備・教材

・読み物教材 ・ワークシート

4 展 開

学習の流れ	主な活動と発問◎中心発問	予想される児童の反応	支援の手立て
問題意識をもつ	1. 学校の中で自分たちを支えてくれる様々な人々を想起して、価値への方向付けをする。 ○どんな学級や学校にしたいか。 ○そのために、誰がどんなことをしてくれているか。 ○あなたは、そのような学級や学校にするために、何かしているか。 人間理解	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり勉強する。 ・きれいな学校、楽しい学校。 ・先生。勉強を教えてくれる。 ・用務員さん。電灯を替えてくれる。 ・5. 6年生。委員会活動をしている。 ・友達。一緒に遊んでくれる。 ・あいさつ ・掃除 ・特にしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい学校に対する思いを確認するとともに、自分たちを支えてくれている人の存在を想起して、本時の道徳的価値への方向付けをする。 ・よりよい学校を望んでいても自ら活動できていない自分に気づき、問題意識をもつようにする。
教材で考える	2. 教材を読み、学習課題について考える。 ○ひろしが、汚れを拭き取ろうとしたのは、どのような思いからでしょうか。 ○たつやや6年生が、自分が付けたものではない汚れを拭き取ったのは、どのような思いからでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が汚したから責任を取ろう。 ・怒られるから、拭き取ったほうがいい。 ・汚れているのはいやだから拭き取ろう。 ・自分たちの学校だから自分たちできれいにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たつやや6年生の思いを考慮することで、学習課題についての自分なりの考えをもつことができるようにする。 ・登場人物の判断や心情を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとする姿が見られるようにする
自己・多角的に見つめ、多面的・多角的に考える	3. 学習課題についての考えを交流する。 ○あなたは、よい学級や学校のためにどんな思いを大切にしていきたいですか。 (1)自分の考えをもつ。 (2)グループで、考えを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの学校を自分たちで、よくしようという気持ち。 ・みんなで協力して、生活をよくしていくこと。 ・気が付いたときには進んで、行動すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを基にして考えを交流することを通して、自分の考えをまとめたり、明らかにしたりできるようにする。 ・自分と違う感じ方や考え方を理解しようとする姿が見られるようにする。
自己を見つめ多面的・多角的に考える	4. 体験的な学習を通して、道徳的価値についての考えを深める。 (1)3分間で、できることを体験する。 ○自分が大切にしたいと考えた思いを基に、学級の中でできることを考え、3分間やってみましょう。 (2)行動の理由や行動した後の気持ちについて伝え合う。 ◎なぜそのようにしたのですか。実際に行動してみてどんな気持ちになりましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の汚れを見つけて落としたり、すっきりといい気持ちになった。 ・みんなが教室をきれいにしようとしているのを見て、自分も頑張りたいと思った。 ・汚れないように気を付けるのもいいなとも思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を離れて、自分の生活場面において道徳的価値と向き合うことを通して、友達のような考えを自分の生き方につなげて考えることができるようにする。 ・体験した後の気持ちを問うことで、自分と違う感じ方や考え方を理解しようとする姿が見られるようにする。 ・道徳的価値のよさや意義を自分のこととして捉え、考えようとする姿が見られるようにする。
自己の生き方についての考えを深める	5. まとめとして振り返りを書く。 ○授業で考えたことを基に、自分を振り返りましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学級みんなが気持ちよく生活するために、気持ちを込めて掃除をしたい。 ・学校のために、来年は委員会活動がんばりたい。 ・自分ができことをやれば、自分もみんなも気持ちよく生活できると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返って書く活動を行うことを通して、体験を基に、自分の生活とつなげて深めた自分の考えを書くことができるようにする。 ・充実した学校生活についての考えを自分の生き方と関連付けて考えようとする姿が見られるようにする。